

# あたしの愛しい 許婚

R18

Ranma 1/2 Unofficial Fanbook

RANMA 1/2 AKANE

辰子の陣  
KINOKOTAI







Ranma 1/2 Unofficial Fanbook

# あたしの愛しい 許婚

R16

乱まのこ隊  
KINOKOTAI



# contents

可愛い許婚

そな...5

恋人と思っていていいですか？

杜崎淑乃...21

召しませきのこ

一宮レイ(小説)\*やみ(漫画)...31

お酒の力でなんとか  
乱馬を攻めたいあかねの話。

八神らいむ...53







かわいい許婚 そな



















…硬くて  
熱くて



はあ



か  
あ  
あ

なっ…なっ  
ぼっばかっ！  
顔見るんじゃねーっ！



……  
気持ちいい？

あ…？ふえっ？

じー



……っ

んん…



顔  
見なきゃ  
いいのね？

が  
ぼ

え

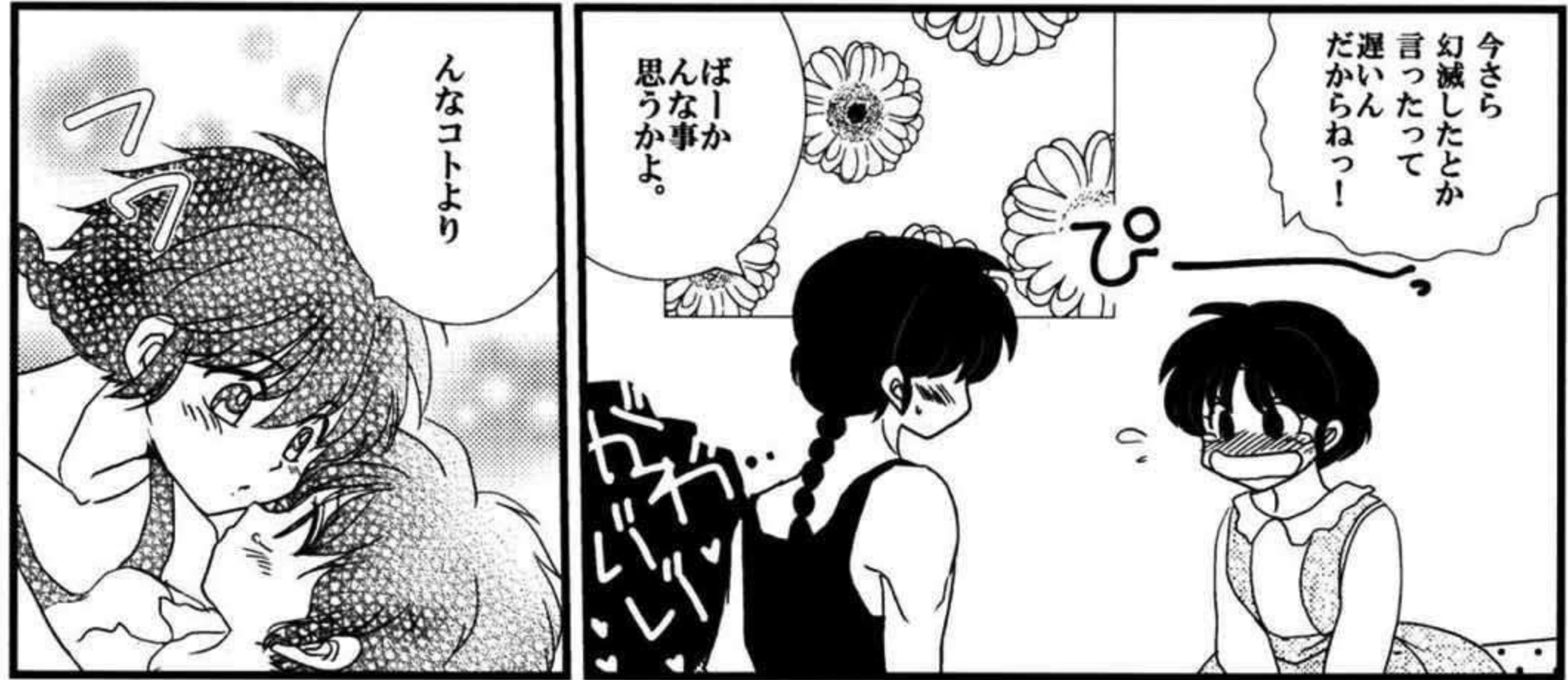




















うん。 知ってる

だみっ だめっ ああ 耳

こんじゃ こっちな。

きゃー!





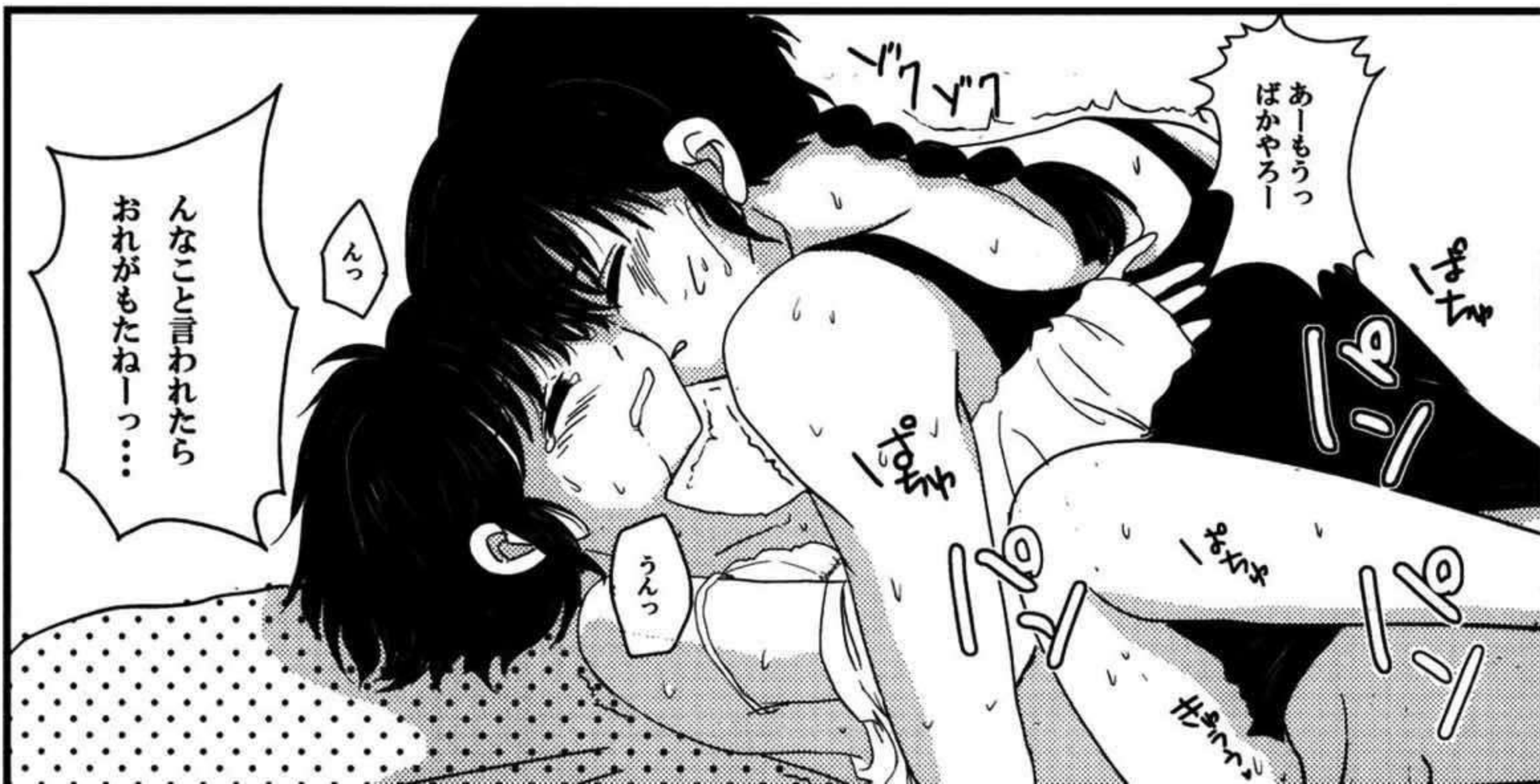
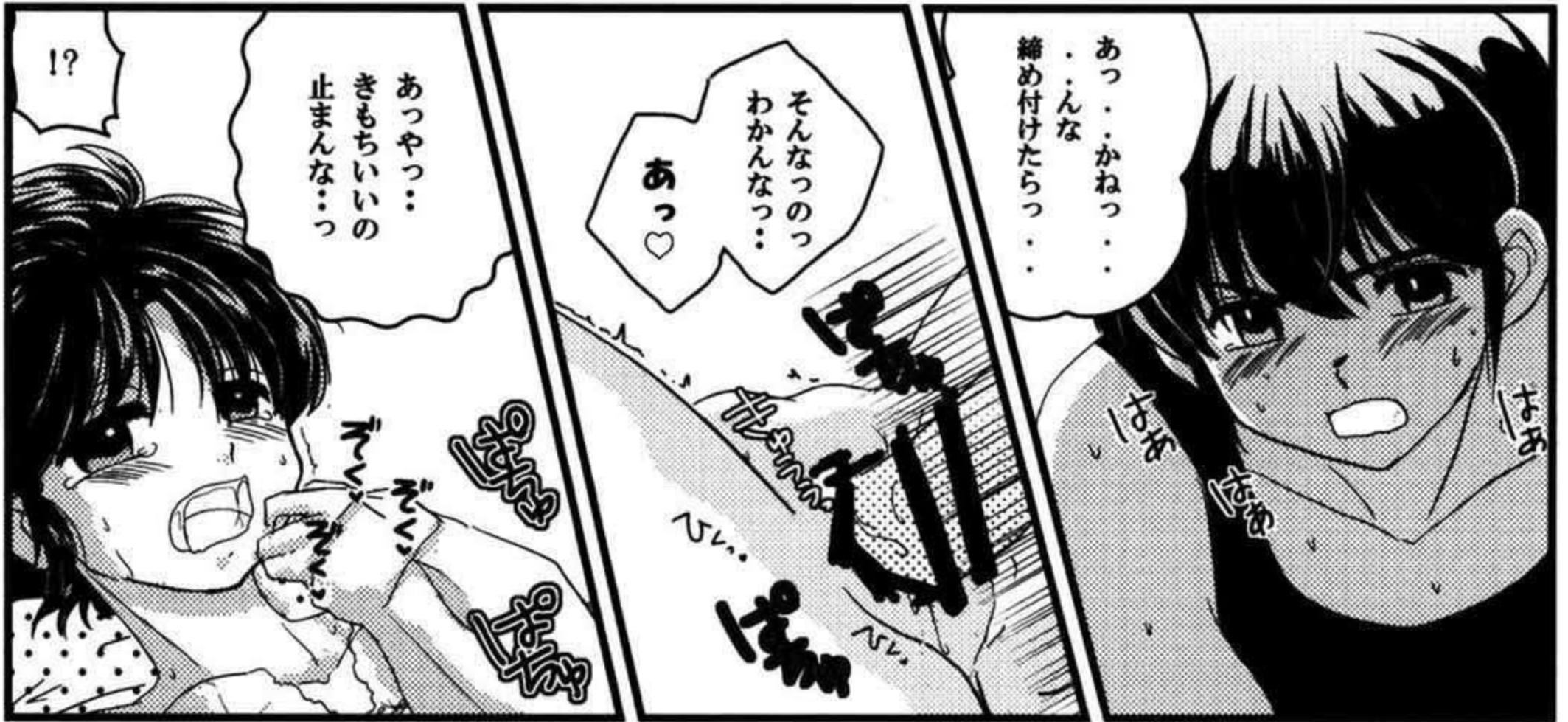




















なによ。  
ずいぶん  
ごきげんじゃない。

ヒューン

えー。  
そりゃそーだろ。  
おれの事  
好きなんだもんなー。

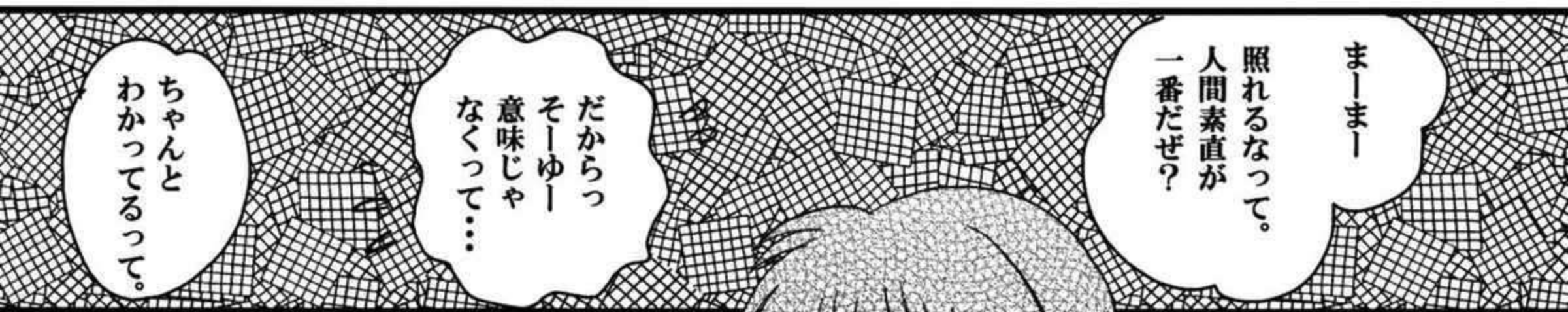
それに、  
おれと一緒にして事は  
いつでもどこでも  
おれとしたいって  
事だよなあ？



かああ

ヒューン

ちっ違うわよっ！



まーまー

照れるなって。  
人間素直が  
一番だぜ？

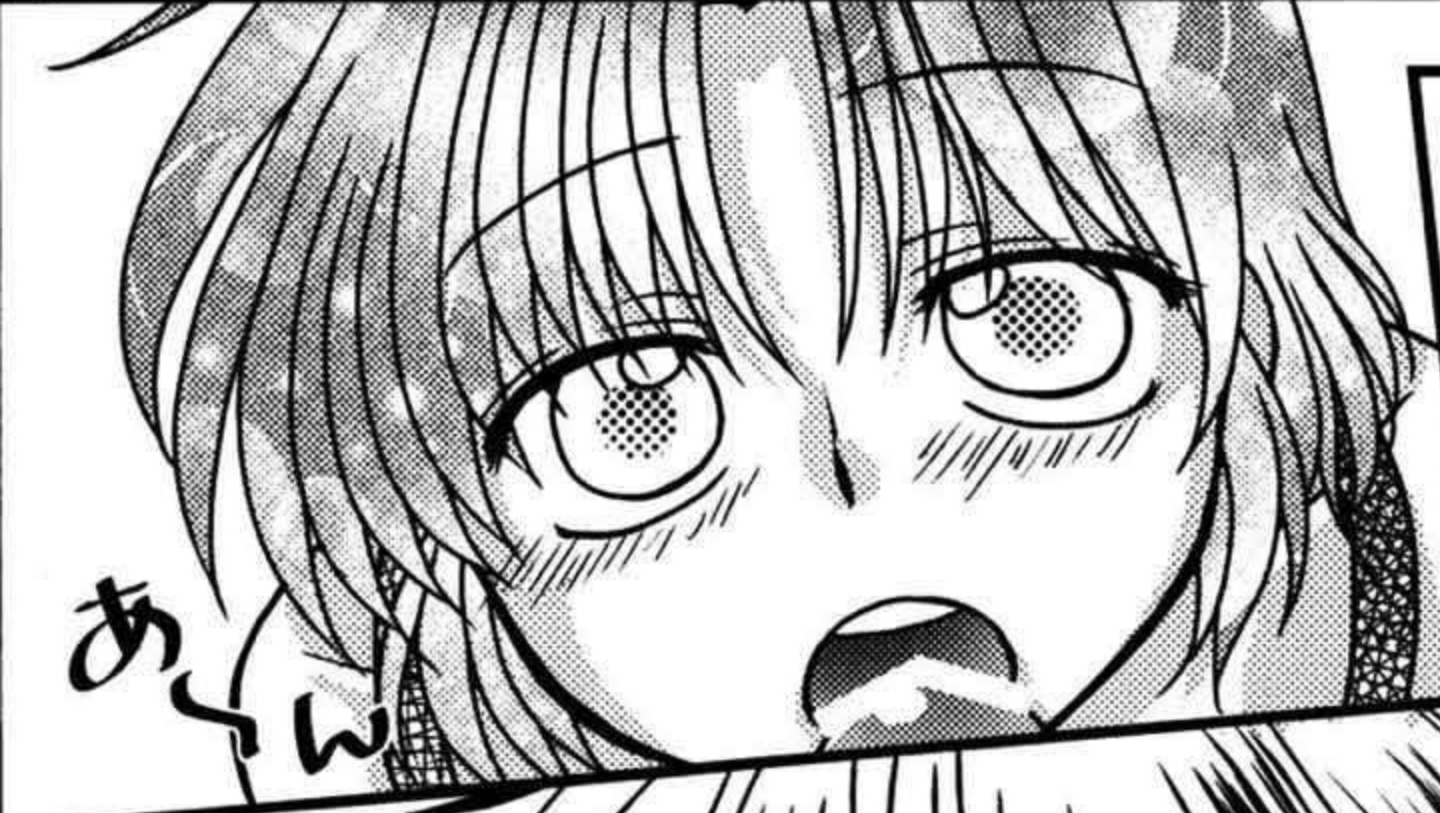
だからっ  
そーゆー  
意味じゃ  
なくて…

ちゃんと  
わかってるって。

…本当は、  
泣いた顔が  
かわいかったから  
もう少し見たくなった  
だけなんだけど…  
言ったら怒るかしら。











おれのちん〇が  
汚い訳  
ねーだろ!!

えー  
だって…

恥ずかしくて  
さつきちゃん  
と  
洗えなかつたんだもの

日頃から  
キレイに  
してるっつうの!

そう  
この二人

中身が  
入れ替わってます

中身乱馬な  
あかね

中身あかねな  
乱馬



あるわよ!

元に戻る  
為だもん!

おんたんと  
足閉じなさい…  
ホントに…



あかね  
おめー  
やる気あんのかよ?!





何よ  
乱馬っつたら  
デレデレしちやうで

おい!  
あかね  
待てつてば

ちよつ  
シャンプー  
くっ付くな!

あたし  
先に  
帰るわね

きんニ〜ン

乱馬!  
わたしとこれから  
デートするね!

は?!

天道さん



未央さん!!

見てたわよ

本気で拒絶しない  
煮え切らない彼に  
不安を抱えてる  
ようね

そんな彼の  
本当の気持ち  
知りたいんでしょ?



だったら  
これを  
飲んでみて

彼の事を  
想いながら飲めば

彼の気持ち  
手に取るように  
分かるようになる  
薬よ



未央さんに  
そう言われて  
渡されたけど…

乱馬の  
本当の気持ち…



シャンプーに  
抱き付かれて  
「たまんねーな」とか  
思ったりするの  
が分かったら…



いいわよ  
その時は  
あたしの方から  
別れてあげるわよ



え  
?!





エッチしたら  
戻れるわよ  
言っただけ  
かしら？

聞いてません

未央さんの  
話しでは...

やだ...

あんなに  
先が...

とにかく

セックスしたら  
元に戻  
るんだろ？

ふるん

なら  
話は簡単だな



おれの  
舐めただけで

あかねの  
乳首  
ピンピン

じゅん

ぴん

じゅん



すげーだろ

おれが  
欲しくて  
ぐちよぐちよ

じゅん





なあ

いつもおれに弄られて  
気持ちいいトコ

自分で  
触って  
確かめてみるよ

うっうん...

あっ  
そこやばい  
気持ちいい...

浅いところを  
優しく撫でるように...

え？  
何これ？!



はあ

あたし乱馬のあそこが  
凄く  
熱くなってる

あ、  
はあ

あたし  
乱馬の声を  
聞きながら  
弄ってるだけなのに

もうだめ  
出ちゃうっ！

ふっ

んっ





まだ  
ダーメ

おれは  
イク時は  
あかねの中でって  
決めてんの

うわっ!

めふん



——っ乱馬  
あたし…

こんな気持ちいいの  
長く持たないっ



んんっ

おれって  
結構  
でかいんだな



もう  
イキそう？

いいせ  
好きな時に  
出していいからな

はあ

すて

すて

おれって





あかね



それに反応して  
乱馬もより  
大きくなってる



あたしの  
名前を呼んだ  
だけで

今凄く  
締まったのが分かる



ちよっ  
おめー何だよ  
急に



あかね

好きだ





あいやー  
乱馬っ

乱ちゃん！

乱馬様！！



自分が  
好きだって  
言っただけだもん

自分の  
名前を呼んで



おい

あれは  
卑怯だろ…

すすす  
好きとか…

戻りました





乱馬

あかね

名前を呼ぶだけで

一瞬触れるだけで

痛い程心と身体が  
反応するのは

あたしだけって  
分かったから

ねえ



今度はあたしが  
あたしそのまま

乱馬を  
攻めていい?

へっ?!

セーッ

次の日



ちよつ待て  
あかね!

あっあかねさんっっ  
あ〜〜〜  
♡



あら  
楽しそうなのに  
残念

未央さん  
ちゃんと  
元に戻して

はっはっはっ  
はっはっはっ

楽しくねえ!!



# 乱馬がきりぎり

小説／一宮レイ

漫画／やみ

少し不機嫌そうな顔で、乱馬はまた稽古用に突き立てた縄を巻いた木に戻って撃ち込み再開。秋の風が心地よく吹き、乱馬のおさげを揺らしてる。あたしは伝票にある天道という苗字をじっと見詰めた。

もうすぐ、天道じゃなくなる。

小包を開けると、ふんわりと土の匂いが広がった。地方紙に包まれたものの上に、白い封筒が一つ。あたしはそれを開け、乱馬に聞こえるように読み始めた。

「拝啓 あかねさん

お元気でお過ごしでしょうか。

紅葉が綺麗な季節になりましたね。

俺は今、日本海で激しい修行に明け暮れる毎日を送っています。

君と乱馬の事は風の噂で聞いた。

君が幸せなら、俺は何も言わない。

ささやかだけど、日本海で採れたモノを送ります。

……」

「ですって」

乱馬に手紙を読み聞かせるあたしの傍にかすみお姉ちゃんとな

びきお姉ちゃんもやって来た。

なびきお姉ちゃんは、手紙と小包の中を覗き込み、はははと笑った。





「見事にきのこだらけね・・・」

「あいつ、また迷子になってやがんな。日本海できのこって」

「まあ、今日はきのこのパーティーねえ」

「豚はきのこ探しが得意だかんなっ」

「それ、どういう意味？」

「別に」

へっ。と鼻を鳴らすと、乱馬は手元の木に一撃を加え、その木をへし折った。

高校を卒業してから早2年、今年であたしも二十歳。卒業しても全く落ち付かない状況だったけど、少し変わった事がある。

それは、乱馬が元に戻った事。

と、それから

「あかねー、そこのタオル取って」

「はあいつ」

あたしの投げたタオルをしっかりと掴んで、「サンキュ」と笑う

許嫁が、許嫁じゃなくなる事。

そう、もうすぐ旦那様になる。

未だ信じられない事実。

あと何カ月かで、あたしは天道じゃなくなるのだ。

かすみお姉ちゃんは小包一杯のきのこを手にはほとんど台所に入ってしまった。

「お姉ちゃん、あたしもっ」

楽しい夕飯時、の筈だったのに。

ドクンとなつてヒュ。

一体何が起こったの？

あたしの手からお箸ときのこが落ち、カランとお皿の上に乗った。目の前のお姉ちゃん達とおば様がびっくりした顔で、あたし達の方を見ている。あたしは自分に何が起こったのか分からなかったけど、隣の乱馬とおじ様を見て理解した。

「おじ様!？」

「親父っ!？」

「ぼ？」

さつきまで大きかったジャイアントパンダが、それはそれは可愛い小パンダになっていて。その場にコロんと転がっている。

「ど、どういう事!？」

「待って、あかねも乱馬くんも変わってるわ!」

あたしはなびきお姉ちゃんの言葉に慌てて顔に手を当てた。何処も変わってない・・・視線も同じ。

でも、何か、身体が・・・

乱馬に聞こうと振り返ったら、真っ赤な顔してあたしを見てる乱馬も違つてて。

「あんた、ちよつと幼くなつてない!？」

「何い!？」

「本当だわ、少しだけだけど、顔付きが」

「なんて中途半端な」

「中途半端言うなっ」

「ぼぼ」

かすみお姉ちゃんは手元のきのこをお箸で摘まみ上げ、「まあ大変」と呟いた。



「このきのこ、年の数茸だったのねえ。せつかくのあかねへのお土産だからと思ってあかねに大きなの置いたんだけど」

「あかね、成長したわねー。まさに大人の女じゃない」

「そ、そうなの!？」

「かじった一口の長さを考えても・・・かすみお姉ちゃんよりは上ね」

「そ、そんなあ」

「しかし、二人はまあともかく。早乙女くん可愛くなっちゃって・・・」

お父さんは畳の上にコロコロ転がる小パンダを見て、複雑そうな顔をした。流石小パンダ、中身がおじ様と分かっても愛らしくて。皆の関心を惹き付けている。ちよつと若返った乱馬といくつか大人になったあたしの事など、もうどうでもいいようだった。おば様は処分しそうになってた小包を出し「胞子付いてるんじゃないかしら？」と笑った。

「くっそー良牙の野郎っ!! ぜってー嫌がらせだっ!!」

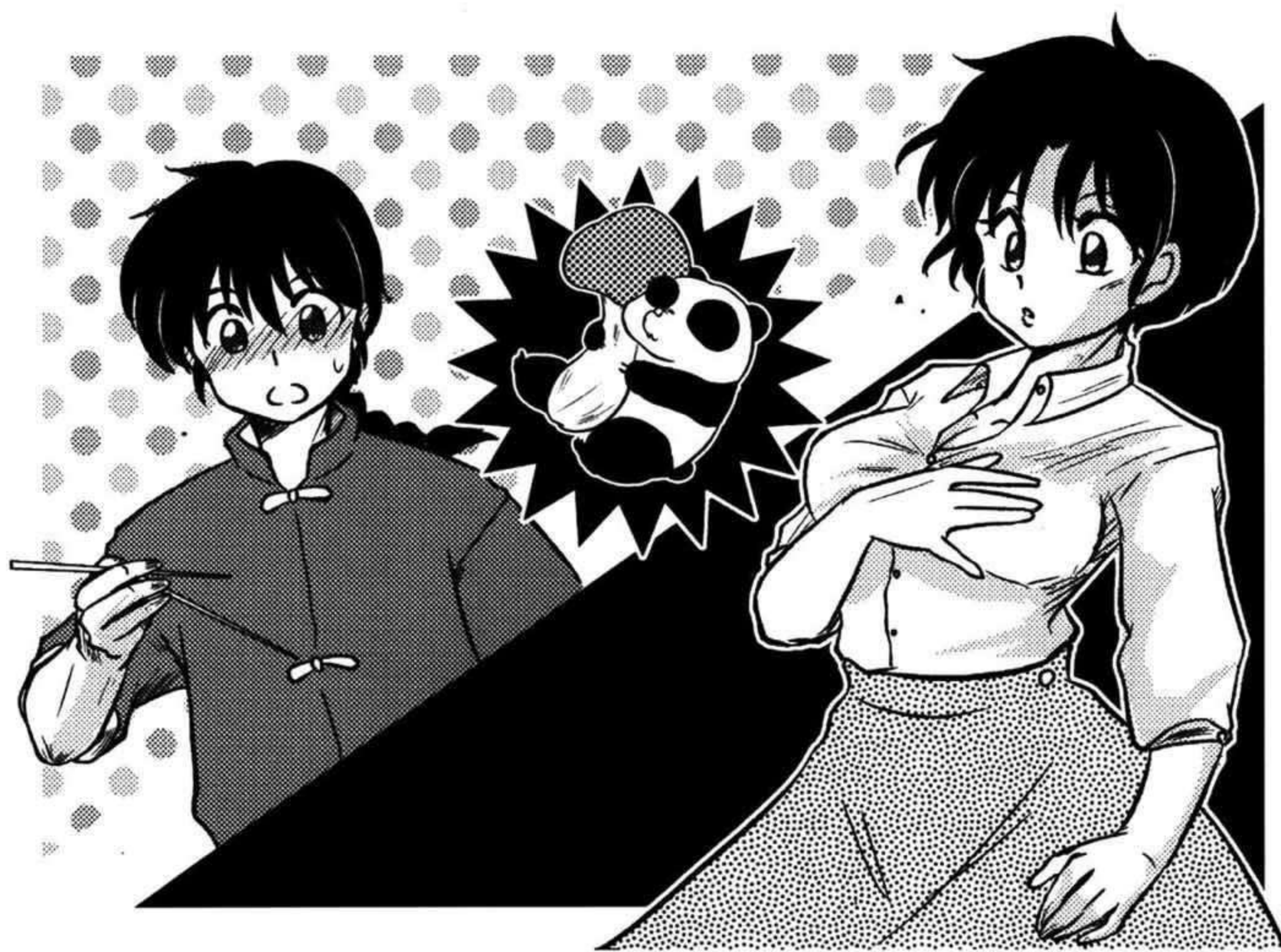
夕飯を半分しか食べられなかった事もあってか、乱馬の機嫌がすこぶる悪い。

乱馬はあたしの部屋のドアを乱暴に開け、ドツカリとベッドの上に寝転んだ。まるでこの部屋の主であるかのような顔で。

「まあ、すぐに元に戻るわよ」

「けっ」

ベッドに寝転がる乱馬は、あの初めて会った頃よりも幼く見える。身長も縮み、しっかりした体格だったのが、少し華奢になっ





ていた。まさに少年という感じ。

「乱馬すっかり子供になっちゃって。ふふふ」

「う、うっせーなっ、年増っ！」

「誰が年増だっ!!」

「ぎゃんっ！」

相変わらず殴ってしまふ癖は直らない。いつか愛想尽かされな  
いかと心配になるけど、つい手が出てしまふ。

いや、乱馬が悪いんだ。つまらない事ばかり言うから。

「何よっ、ガキー」とべと舌を出して、あたしは姿鏡を覗き込ん  
だ。

びっくりした。

身体も顔も、すっかり大人だったから。

「えーっ、これ、あたしっ!？」

あたしの身体は身長こそ違わねど、色々な所が成長して  
いて、全体的にちよつとふっくらしてて……

胸、成長してる……

「ね、ねえ」と乱馬を振り返ると、目のあった乱馬が慌てて目を  
逸らした。その頬は真っ赤に染まってる。

「ちよつと、何で逸らすのよっ」

「べ、別にっ」

「失礼ねー」

着ていた薄手のシャツがちよつと窮屈な胸元を押さえながら、  
あたしは乱馬の横に座った。

「戻るかなあ」

「も、戻るだろっ」

「戻らなかつたら、あたし姉さん女房だね」

と、冗談で笑うと、「あはは」と笑って返してはくれるものの、  
乱馬の顔は益々真っ赤。

「乱馬？」

「な、何だっ」

「真っ赤よ、あんた」

「そ、そか？ 気の所為だろっ」

ぷいと顔を背けるけど、耳まで真っ赤になってた。

ちらとこちらを見た乱馬の視線が胸元を彷徨ってるように見え  
て、あたしは慌てて胸を隠した。

「何よっ、どーせ本当のあたしは小さいですよっ」

「んな事言ってねえだろっ」

「言っなくても思っ込んでしょーっ」

「あのなあっ」

「何よっ、胸大きい方が嬉しいくせにっ」

と、あたしは胸を強調するように乱馬にずいと寄ってみた。ほ  
んの、悪戯気分だったんだけど……

「あ、あかね……っ、あのっ」

あたしの大きくなった胸が真正面に来てびっくりしたのか、し  
どろもどろの乱馬。

そして、ふらーと手が伸びて来たから、その手を掴んでパフツ  
と布団に押しつけた。

「ちよつと、なに手、出してんのよっ」

「おっおめえが目の前に出してくっからだろっ」

真っ赤な顔の乱馬、きのこの所為で幼くなってるからか凄く  
初々しく見えて……

胸が、キューとなる。



可愛いとか言ったら怒るだろうけど、可愛い。いつもの俺様な感じとは違う新鮮な反応に、あたし、益々悪戯心が湧いてしまった。きのこの所為で心まで大人になったんだらうか。

あたしは更にずいと乱馬に寄る。乱馬の背中がベッドサイドに付く。腕をぐっと寄せて、胸を出す。

「ほらほら、いつもと違う大きな胸ですよーっ」

「ち、ちよっと・・・」

「触りたいでしょ？ 触らせないもんねーっ」

「おっ、鬼っ！」

「え？」

「あっ」

乱馬はしまったって感じで手で口を覆った。

え？

「何、あんた触りたいの？」

「べべべ、別におめえのちよっとでかくなった胸なんて別に俺は触りたくなんか別にないって俺は」

「あっそーですかっ」

何よっ、大人になったって胸大きくなったって、あたしには色気が無いとでも言いたいのっ!?

あたしだってあたしだって、女なんだからねっ！

「じゃあ絶対触らないでねっ」

そう叫んで、あたし、薄手のシャツの前をぐっと開いた。どっかであかね何やってんのって声が聞こえた気がしたんだけど、どうしたんだらう、本当に。

開いて開放された胸がぼよんと前に溢れ出た。付けていたブラから溢れそうな胸は、乱馬の鼻先で揺れる。

「へえ・・・こんなに大きくなってたんだ・・・」  
自分でも驚いた。

乱馬はまた手で口を、というか顔半分を覆った。

「どうだっ、これでもかっ」

乱馬がぶるぶると首を振る。益々真っ赤に染まっていく。その困った少年顔があたしの悪戯心を煽る。

更に寄って、乱馬の上に跨った。少し薄くなった乱馬の胸に手を付けて、身体を寄せた。あたしの胸が乱馬の胸の上に乗る。と、押さえていた乱馬の手が動いて、あたしの腰を掴んだ。けど、すぐその手を掴んで剥がした。

「何触ってんのよ、触らせないって言ったでしょ」

「おっ、おめえがひっついてくっから」

「あんたは触っちゃ駄目っ」

触らせてくれっていうまで、触らせてあげない。

乱馬の両手を掴んで、ベッドに押さえつけた・・・あたし、気が付いてしまった。あたしのお尻の下で乱馬のが、固くなってるのを。

「へえ・・・そう」

「な、何だよ・・・」

「乱馬、あたしに興奮してんだ」

「え」

「こんな風にされて、興奮してるんでしょ？」

「べ、別に」

「別に？ 違うの？」

「じゃあ、これは？」と、あたしはお尻を動かして、乱馬のモノを刺激した。乱馬は「あ」と声を上げ、しまったって顔をした。



その表情をもう一度見たくて、もう一度刺激を加える。

あたしの手の下の乱馬の手に力が入ったのが分かった。けど、離れようとしなない。

少年に変化してるとはいえ、あたしの力に負ける筈なのに。

「どうする？ねえ」

「どう、するって・・・」

「どうするの？」

胸がドキドキする。大胆になっていく自分が信じられない。でも、止められない。

ゆっくり乱馬に顔を寄せ、その唇にキスをした。

乱馬の唇、震えてた。

大人のあたしと少年の乱馬、ちぐはぐさがイケナイ空気を作って行く。

「触っちゃ、駄目だからね」と、乱馬の耳元で囁いて、乱馬の手を解放した。

スベスベの少年乱馬の頬に触れる。それをスーと降ろして、チャイナのボタンを外して行く。乱馬は眉間に皺を寄せ、何かを我慢してるように見える。

その表情が、堪らない。

もっと、そんな顔、して欲しい。

少年になっているとはいえ、筋肉の付いた胸。中学生だとして、出来過ぎた身体だと思う。でも、本当の乱馬よりは細い。

チャイナを開き、胸に手を這わすと、「くすぐってえ」と乱馬が言った。

「くすぐってるのよ」

ツーと指先を降ろし、乱馬のお臍でピタと止めた。形のいい、お臍。乱馬が息を飲む音が聞こえた。

「乱馬、細いね」

「う、うっせーな」

「どうしようか、本当に戻らなかつたら」

「んな事、ねえよ」

「あんたと10以上も違うのよ？」

「あかねはあかねだ」

「年増だって、言ったくせに」

「そ、それは・・・」

着ていたシャツをはらりと落とし、ブラだけになる。

そのブラも、肩紐からゆっくりずらした。



年増と

SEX、  
してみる？

！

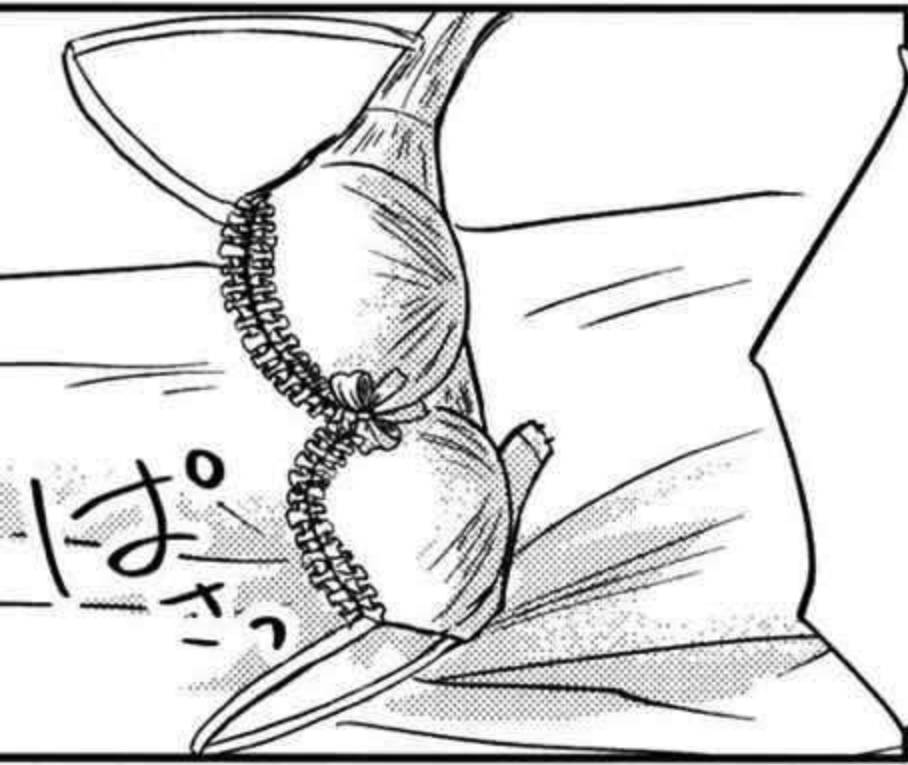
313

重  
いげえ  
……

ちよこ











感じ...ない  
ことはないけど

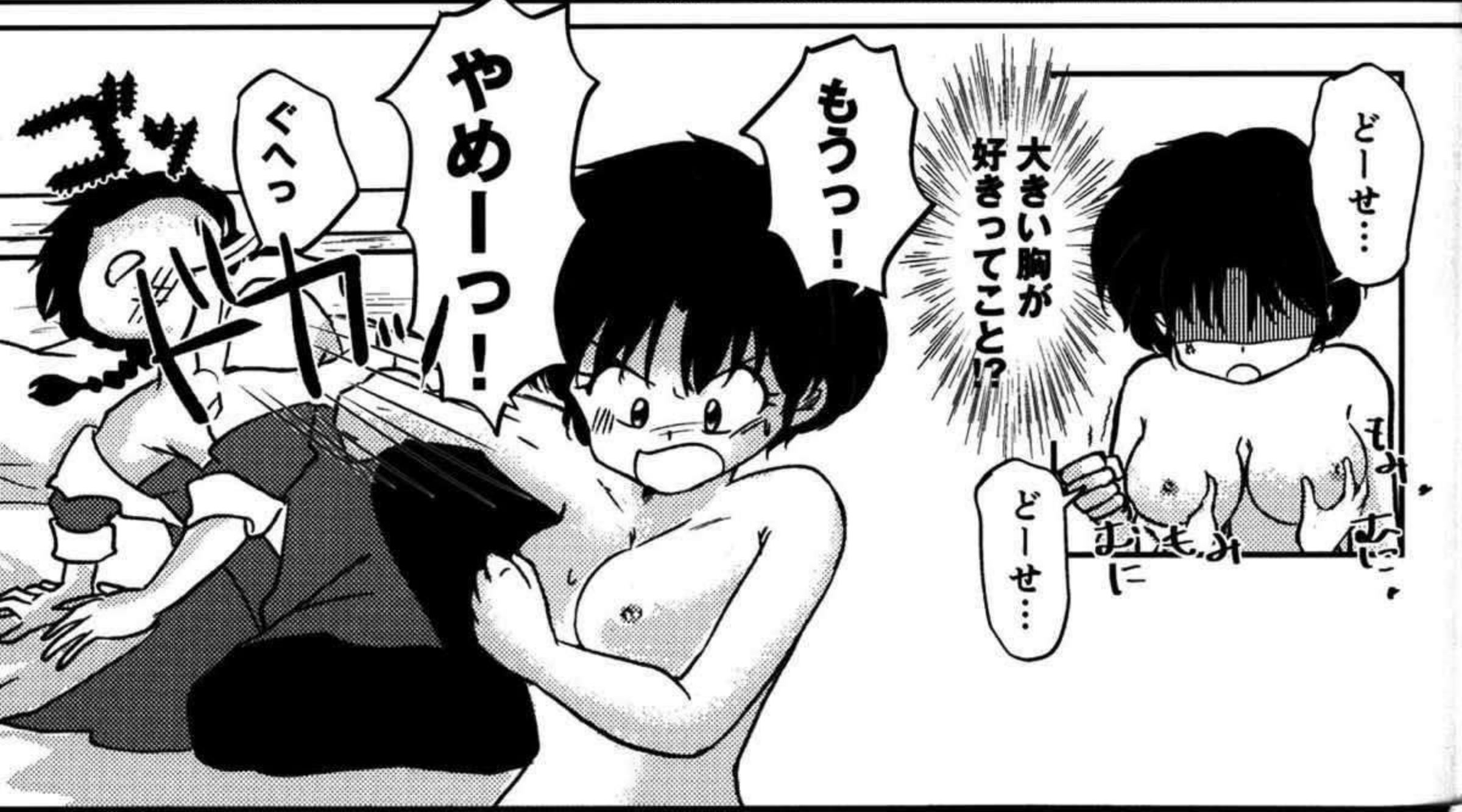
うわー  
柔らかー

なんだか複雑っていうか...  
乱馬が夢中になってるのは  
きのこの所為で年を取って、  
ふくよかになって大きくなった胸で。



と言う事は、  
あんたやっぱりっつ

だから今は本当の  
あたしの身体じゃなくて、  
この胸の大きさも本物じゃない。  
でもその本物じゃない胸で  
乱馬は幸せそうにしている...



ぐぐっ

やめーっ!!

もっじっ!!

大きい胸が  
好きってこと...

どーせ...

どーせ...

















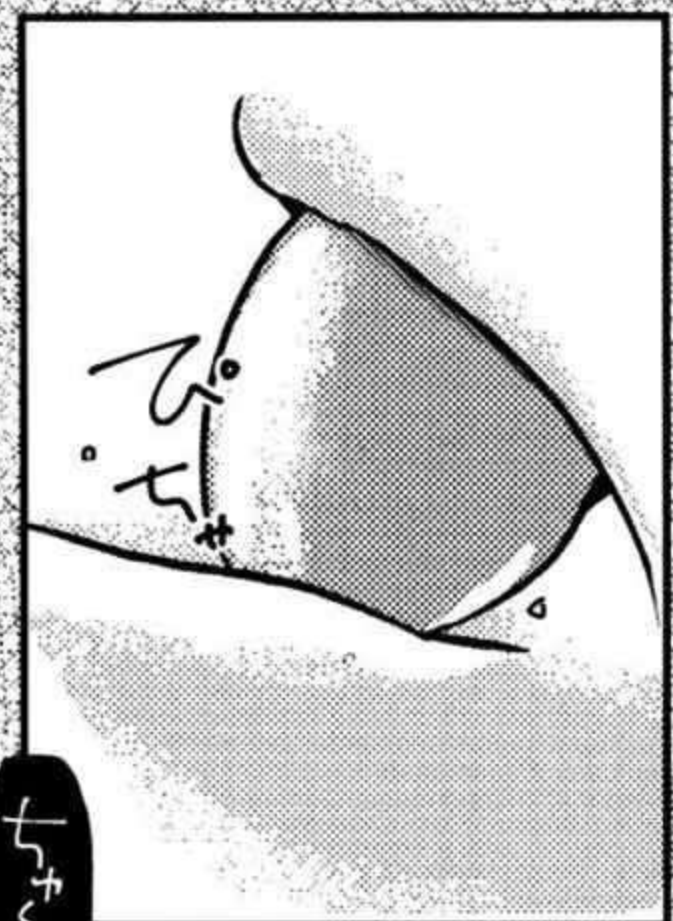
いつもは…  
あれよあれよという間に  
脱がされ舐められ攻められて



ぐったりしちゃって  
腕の中で眠っちゃう…  
そんなSEXだけど



今日は違う。  
あたしが主導権を  
握ってる



ちゅ



ヤラぬも

くっ...

グ  
グ  
グ  
グ  
グ

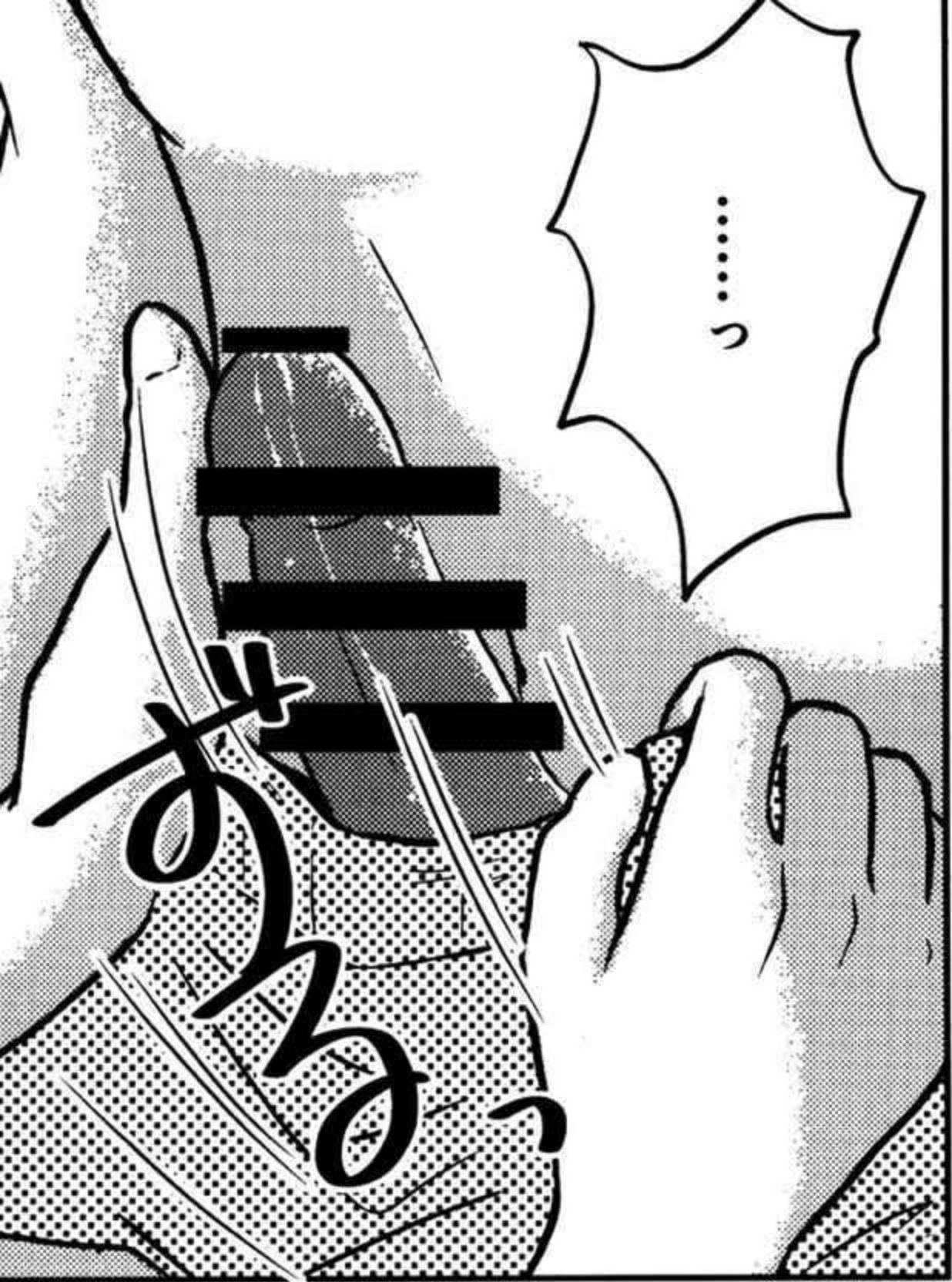
はあ

ヤラぬも

あたし次第











でも不思議と  
嫌じゃないのは、

苦いというか、  
何というか……  
複雑な味。

好きな人の  
だから  
だと思っう。



だあつて！

じゅっじゅっ……

今はあたしが  
主導権握ってんだから。

じゅっとしてないと、  
やめちゃうわよ？

分かってるわよ。  
でも、駄目。



もう我慢  
出来ないんでしょ？





男のくせにつ、  
子供のくせにつ！

なんて、  
いやらしい…  
色気のある  
顔してんのよっ。

うは……っ

あくっすま

あっ



そっ…

もっと、そんな顔、



見たくなる  
じゃないっ！





何で…!?

えっ…

びんたっ

ちんぽん

あたし…  
有り得ないくらい  
大胆になってる。



一人でいくなんて…

そ…それは



駄目。先にイキそうに  
なったでしょ？

びんたっ  
ちんぽん



ずるいんだから

いつもの自分じゃ出来ない  
言えないような事、  
言ってるって分かってる。  
でも、興奮しちゃって  
……止められない。

あのきのこ…  
他にも作用が  
あるんじゃないの？

ん…

あ…あかね…

入れただけで、  
こんなに  
気持ちがいいなんて…。  
こんなの、動いたら  
あたし…  
直ぐにダメになる!!

しまみ

びび

びび

しゅん…

くっ

しゅん

ぽ

ちゅ

いん

くち

いん





あつ、あああつ、  
すご……っいつ!!

乱馬っ

あかね……っ

でも、滅茶苦茶に  
動きたい!!

すげえ  
締まる……っ!!

俺もう……っ

おん

駄目よっ!  
我慢して!!



一緒に  
イクんだからっ!!

おん  
おん  
おん

おん

おん





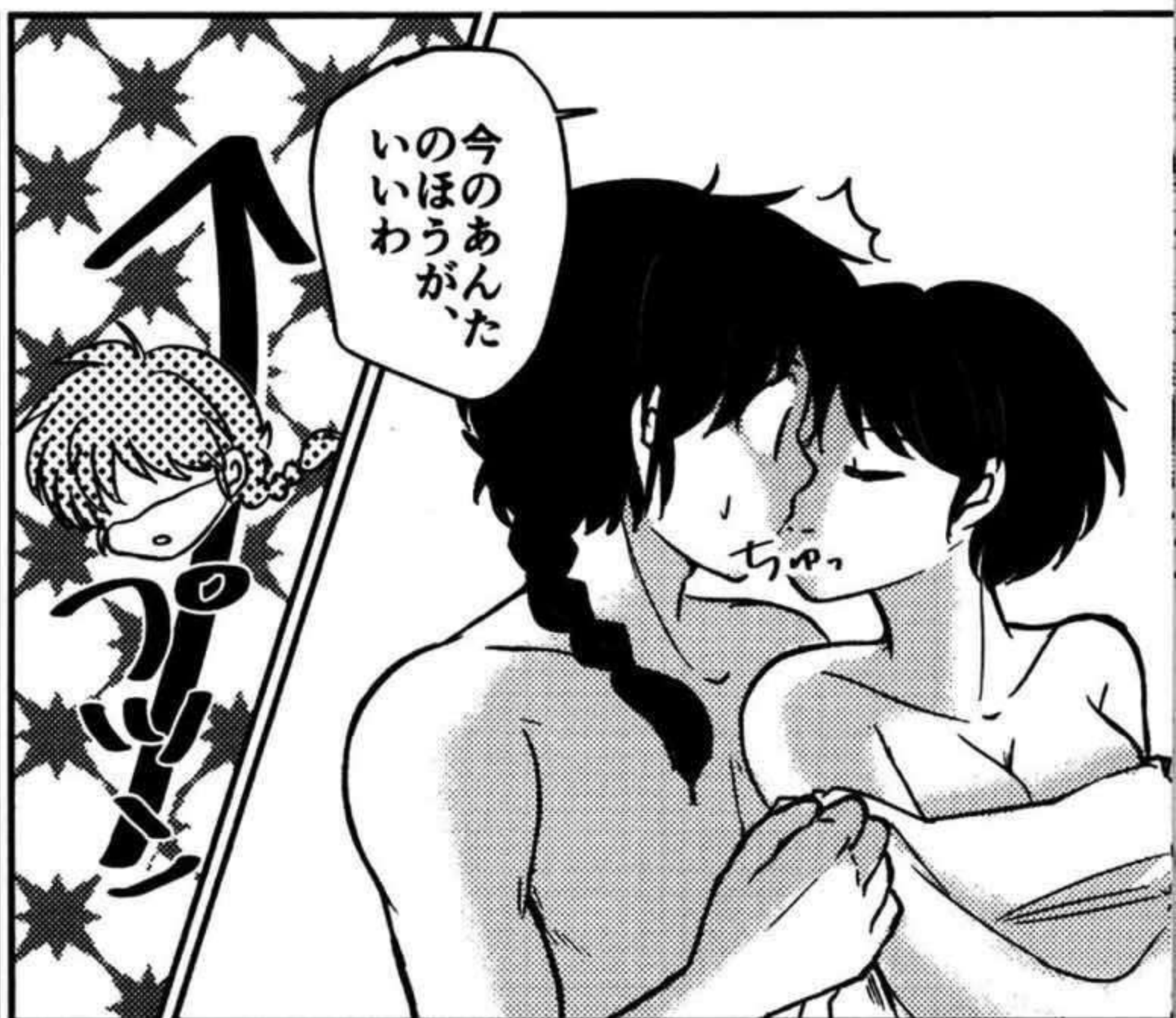
その夜



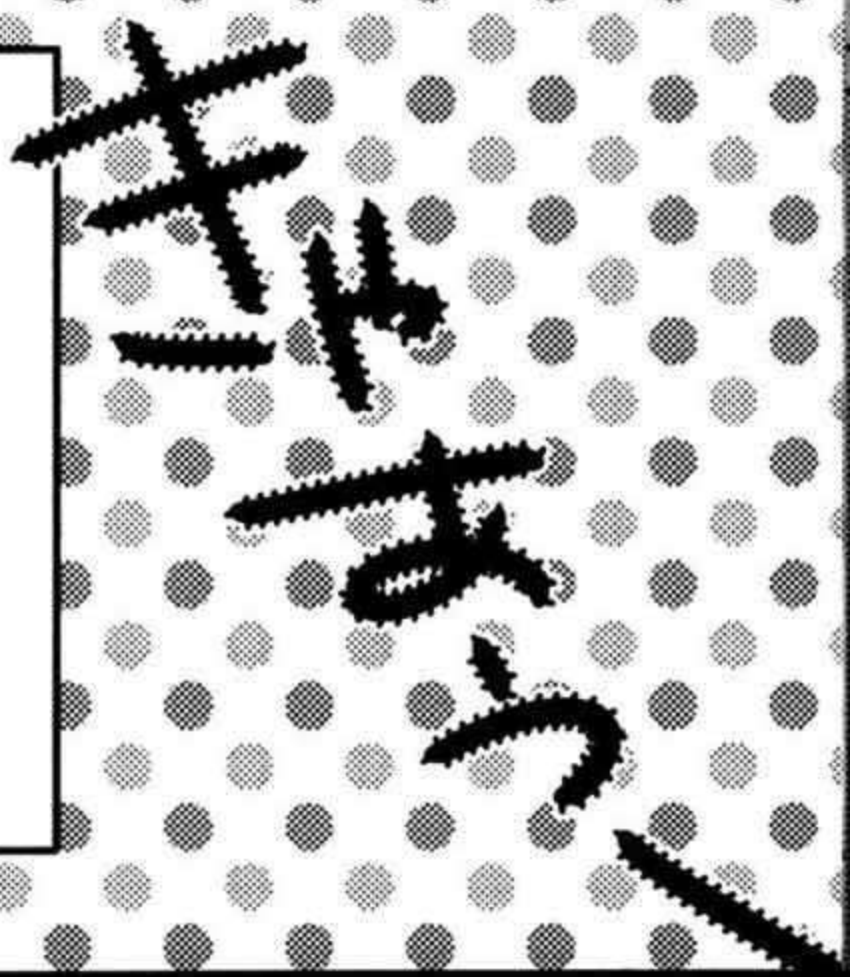
それでも 足りねえっ!







秋の夜長は  
まだまだ  
終わらないのね

















この  
酔っぱらう!!

はあ、

はあ、

…酔って  
らいもん。

お酒の力が無いと  
出来ないなんて

はあ、

はあ、

はあ、

恥ずかしいし  
上手くできないし

いつも…  
こうしてあげたいって  
思ってるもん。

情けないけど…

はあ、

…らけど





今日だけは

乱馬に  
してあげたい...

おっはあ  
はあ

どきどき  
どきどき

しちゃい  
ちゃう

ぴしん

やきん

ふん

むか  
むか

の。

...らや?

どきどき  
どきどき

いやとは  
言っ  
てねー  
だろ...

くら  
くら

やわやわ  
あわあわ

あかねが震えながら

ぎこちなく  
ゆっくりと

腰を擦り付けてくるから...

しちゃい  
ちゃう

めり  
めり

刺激がもどかし...

はっ

ちゅ

どきどき

ズ  
ル  
ン

しゅん  
しゅん

どきどき  
どきどき

しゅん  
しゅん

しゅん  
しゅん

















はあっ♡  
今日はあたしがっ♡  
あたしがあっ♡♡

はあ  
ふああ

おあっ  
はっ

びん  
びん

はっ  
はっ

あっ  
あっ

あっ  
あっ

あっ  
あっ

だめっ...  
だめっ...  
あっ

あっ  
あっ

あっ

あっ

あっ  
あっ

あっ  
あっ

あっ  
あっ

あっ  
あっ

あっ  
あっ

あっ

あっ





乱馬っ

ニギッ  
ふんふんっ

乱馬っ  
ふんふん

ふんふん

ふんふん

はーっ  
らんまっ  
あっ

…んなに  
必死に  
腰動かして…っ

ぬるぬるっ  
ふんふん

酔っめらるるっ  
ふんふん

ふんふん  
すぬるっ  
もん…っ

ふんふん

ふんふん

ふんふん

ふんふん

ふんふん  
酔っめらるるっ  
ふんふん

ふんふん

ふんふん  
ふんふん  
ふんふん

ふんふん

ふんふん

ふんふん

ふんふん

ふんふん

ふんふん

ふんふん

ふんふん

ふんふん









ばかっ...

はっはっ

はっはっはっ...

はっはっ

はっはっ

はっはっ

はっはっ

あたしが  
酔うのは

あんただけよ...

はっはっ

はっはっ

はっはっ

はっはっ

はっはっ

はっはっ

はっはっ

はっはっ





びびり

びびり

おっ...  
おっ...  
おっ...

おっ...  
おっ...  
おっ...

びびり

おっ...  
おっ...  
おっ...

びびり

びびり

びびり...

びびり

びびり

おっ...  
おっ...  
おっ...

びびり

おっ...  
おっ...

おっ...

おっ...

おっ...

びびり

びびり

おっ...

おっ...





しんがら♡

すあつ...  
は...

...あ  
さつき、  
より...

すあつ...

かたくない...?



は...

は...



ふ...  
ん...

ふ...

すあつ...



きんぎょ...

は...



は...

よかった...?

ズキ  
ユウ



?  
えっ  
なんれまた  
おつき...

あかねっ...!!

かばちゃん

ひゃ...っ!?

そして延長戦







# 一宮レイ

秋といえぼきのこです。久しぶりのきのこ隊の復活にワクワクドキドキしております。今回恐れ多くも大人気のやみさんとコラボさせて頂き、数年前からお蔵入りしていたへなちょこエロ小説が鮮やかな漫画に大変身いたしました！やみさんの初めてを貰った気がして誇らしいです(●´ω`●)やみさん、本当にありがとうございました！小説書いてて良かったなー！

# やみ



一宮レイさんの小説に挿絵と漫画を描かせていただきましたやみと申します。ある日焼肉食べてたら粉れ込むことになっていて、びっくりすぎて話してる内容とお肉が消化しきれませんでした。断ることを知らない恥かき野郎はこの夏「資料」と称してティーンズラブ読み漁り暑さとエロの情報で頭が飽和状態になりつつ得た知識は「エロは擬音」。レイさんこんな擬音書いてないっす。というわけで「資料」を見様見真似(否バクリ…のはず)した私の浅知恵の結果、このようなことになったのにレイさん最後までお付き合いしてくださいました。本当、足向けて寝られないです。

本当にすみません。ごめんなさい。でもでも…  
**めちゃくちゃ楽しかったっ！**

こんな私にエロを、あ乱を描く機会を与えてくださった『きのこ隊』の皆様にも、そして、図らずも私なんぞのフィルター通したエロのあ乱を読んでくださった方に、ごめんなさい!! じゃなかった。

**ありがとうございました!**  
2016年9月某日。やみ



# あ

# 乱

# 八神らいむ

祝♥きのこ隊5周年&限定復活!! おめでとうございます〜!!  
はじめましてまたはこんにちは八神らいむです。  
目指せ男性向け!きのこ大量!ミルク!というサークル名と方針通りがつり好き放題描いたら原液のカ○ピスみたいになりました。  
擬音がどんどん増えて8月の蟬くらいうるさくなりましたw難しい…!  
らめえらめえあかね楽しかったです…あかねちゃんにえっちな言葉言わせたいですよね…語尾にハートマーク楽しすぎました…ウオオまた皆さんと一緒に本を出せて本当に嬉しいです…ドキがムヌムヌそし、て!!皆さんのあ乱が楽しみすぎて…ハアハア…あ乱大好き…!!  
自分はお乱度5%くらいになってしまったので、いつかちゃんと受けな乱馬を…なんとかあかねちゃんに頑張ってもらって描いてみたいです…あ乱はいいぞそれではありがとうございました!うわー!乱馬とあかね大好きー!! 2016.10





最後になってしまいました  
今回のきのこ隊発行  
「あたしの愛しい許婚」のテーマは  
あ乱でございました。  
最後までお読み頂き  
誠に有難うございました！  
またどこかでお会い出来る事を願って。  
きのこ隊一同

今回諸事情により参加出来なかったメンバーもいるので  
またいつかふらっと復活出来たらいいなあ(淑乃)



あたしの愛しい許婚

きのこ隊

2016.10.09

alto16171819@yahoo.co.jp

スズトウシャドウ印刷

※無断転載複写ネットオークション禁止



MY LOVE  
FIANCE

RAN KANE  
RAN  
UNDF  
ANBOOK



# MY LOVELY FIANCE

RANMA\*AKANE  
RANMA1/2  
UNOFFICIAL FANBOOK



陣子のこ隊  
KINOKOTAI